

遠州 歴史散策マップ

静岡県西部地域には、大河ドラマに関連する 北条氏や源氏、平氏等に関わりの深い「ゆかりの地」が多く存在します。 ゆかりの地や人物を通して歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

1)湖西市風炉の井



P 無し

湖西市新居町浜名1132 関連人物 源頼朝

(2)湖西市 紅葉寺跡

風炉とは茶の湯の席で湯を沸 かす炉のことで、頼朝上洛の際 に、この井戸水を茶の湯に使っ たといわれる井戸の跡。市指定

頼朝が橋本宿に逗留した際に

寵愛した長者の娘がのちに出

家して妙相と名乗り、建てた寺

と言われている。現在は建物等

頼朝が寵愛したとされる橋本

の長者の娘(妙相)に下賜した

という扇子と団扇が残る。妙相

は貞節を守って出家し寄進した

という毘沙門天立像と願文が

残る。ただし、長者の娘と妙相

が同一人物かは史料的裏付け

はなく史跡看板のみ。



関連人物源範頼 P 無し

伊勢神宮の荘園だった蒲御厨 の中核社。同神宮にならい、現 在でも式年遷宮を継続してい る。現地荘官だった蒲家当主 が、源義朝と池田宿の遊女との 間に生まれた源範頼を御厨内 で養育したと伝わる。このこと から範頼は「蒲冠者」と呼ばれ る。境内に三重県石薬師寺から 贈られた「蒲桜」が植えられて

る。浜名湖南東岸に屋敷を構

え、元禄元年(1688)の棟瓦が

ある主屋は国の重要文化財。

源義朝が平治の乱(1158)で敗

死した後、平家の追手から逃れ

た少年期の範頼が蒲御厨内で

匿われた屋敷跡と伝わる。邸内

こ伏見稲荷を祀ったことから

稲荷山」という。屋敷跡の一部

に大永元年(1521)、龍泉寺が

開創される。開基はさかのぼっ

て源範頼としている。範頼近臣

の勝又五郎の守本尊・摩利支

保元の乱(1156)で、源義朝に

従って平清盛らと戦った武将の

た。後の井伊家にあたる。龍潭

寺は井伊家歴代の菩提寺とし

て創建、国の名勝に指定されて

いる庭園などがある。寺の南側

に井伊共保公誕生井戸がある。

天像を祀る。

6 浜松市 蒲神明宮



いる。



〈7〉浜松市 中村家住宅

浜松市西区雄踏町宇布見4912-1

8 浜松市 龍泉寺

関連人物源範頼

P有り



磐田市池田330

磐田市野箱

P 有り

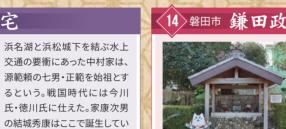
関連人物 平重衡

関連人物一平宗盛

いう記録にでてくる「1番は千寿 の前、2番に熊野の娘待従・・・」 とあるように日本一の美女とい われる「千寿の前」ゆかりの寺。 長者の娘として静岡市手越で 生まれた千手は、千手寺に祀ら れている千手観音にお参りして 授かった子ということから「千 手」と名付けられました。



平治の乱で敗れた義朝とその



関連人物 平重衡

P無し

戸無し

〈14〉磐田市 鎌田政清の供養塔

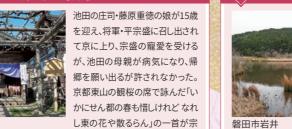


関連人物源義朝、鎌田政清

子・朝長、頼朝らは、情勢が不利 となり、京を退出。尾張国野間 致とその子景致に謀られ、義 朝、政清は暗殺。当地が鎌田氏 の領地の一つだったとか、鎌田 政清の郎党の出身地だったと の話がある。

Okm 5km

【11】磐田市 伝 「熊野の母墓及び熊野の墓」 (15) 磐田市 鶴ヶ池



盛の心を動かし、池田への帰郷を

許された。母親は全快したが、彼女

幕府に捕らえられ、鎌倉へ移送

後、囚われの身となった重衡を

源頼朝は手厚くもてなす。その

際、身の回りの世話をしたの

が、千手の前であった。その後、

東大寺の僧侶たちの訴えによ

り、奈良に戻され、斬首される。

千手の前は重衡の死を嘆き、や

がて没する。

が京へ戻ることはなかった。

〈12〉磐田市 千手前の墓(傾城塚)

源頼朝の兄・朝長を祀る袋井市 友永・積雲院に立ち寄った帰 路、岩井村で鶴が飼われている ことを知り、父や兄たちの追善 供養のため、岩井池で放生会を 行う。この時、鶴の足に金の札 を付けた。この後、岩井池を 鶴ヶ池と呼ぶようになった。

源頼朝の兄「源朝長」の墓所と

て知られ、境内には源義朝

、菩提を弔うために寺を建立

したと伝えられ、その折、墓のし

るしに松を植えたと伝え、地元

では馬繋ぎの松の伝承も伝え

遠南信道路

関連人物》源頼朝、源朝長 **P** 有り

(16) 裝井市 積雲院

関連人物」源義朝、源義平 P_{無し} 源頼朝、源朝長

三遠南信道路

袋井市友永648

〈17〉 袋#市 御沙汰神社

て祀る社で、ご神体は馬上の朝

仏「源朝長公御祭礼」(袋井市



P無し

関連人物源朝長

(18) 袋井市 油山寺



(19)袋井市 久野城址

P 有り 久野宗仲

三遠南信道路。

袋井市村松1

P 有り

真言宗の古刹。油山寺本堂前 に建つ油山寺三重塔(国指定)重要文化財)は3代目の塔で I戸時代初期に建立されたも のですが、戦国時代に焼失した 2代目の塔を再建を発願し寄進 したのが源頼朝と伝えている。

久野城は、明応年間(1492~

1501) に久野宗隆によって築

城された城郭。宗隆は可睡斎

の開基としても知られる人物。

久野氏は鎌倉時代初期に始ま

、初代は宗仲という人物と伝

えている。宗仲は原清行の子

で、原氏は御家人で、原田荘細

関連人物 北条義時、和田義盛 谷郷 (現掛川市) の地頭であっ

関連人物源頼朝

袋井市国本2568 関連人物 熊谷直実 **P**無し

〈20〉 袋#市 七ツ森神社 片葉の葦の言い伝えが残る。源氏 将に、一ノ谷の戦いで平敦盛の首

を取ったことで名を知られる熊谷 次郎直実という大将がおり、直実 が東海道を西へ行く途中、七ツ森 の沼のほとりで休憩した。直実の馬 は片方の葦の葉だけ食べてしまい それからというもの七ツ森の葦は 片方しか葉が出ない片葉の葦に

なったと伝えている。

〈21〉 缀#市 大宮神社



袋井市新池2055-1 関連人物 平惟盛 尸無し

大明神の言い伝えに平惟盛がそ 場する。富士川の合戦に赴く平氏の 大将、平惟盛は新池村で病のため ると、村人から赤蜂大明神を紹介さ れた。社で神様に祈願すると程なく 病魔は退散したため、社殿を立派 にして欲しいと金子を村人に渡した と伝えている。

大宮神社境内に祀られていた赤蜂

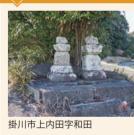
22〉森町 友田家住宅



友田家の祖先は伊勢平家で、厳 島神社造営の後に出雲の刀鍛 冶となり、平家滅亡後、亀久保 に土着したと言われている。こ の家は平家の落人としてこの 地に移って以来古い家系を持 ち、江戸時代元禄年間に建てら れた。国指定重要文化財。

関連人物 平清盛 夕 有り

<23>掛川市和田義盛の墓



関連人物 和田義盛 **P**無し

和田地区には和田義盛の出生地で あるとの伝承が残っており、「和田の ま、「和田の塚」に関する記述がみら れ、『遠江古蹟圖絵』では、畑の中に 2つ五輪塔が並んでいること、法名 銘文が刻まれていないことから計 の墓碑かは分からないこと、義盛に 仕えた家臣が主君である義盛の碑 を建立した可能性を指摘している。

24 菊川市 横地氏城館跡



関連人物 横地長重 P 有り

横地氏は保元の乱では源義朝 に、治承平治の乱では頼朝にる れぞれ従っており、鎌倉幕府成 立後は有力御家人として鎌倉 を中心に活動していたことが 『吾妻鏡』に散見される。有力 武士である横地氏の本拠地跡 である。高田大屋敷遺跡ととも に菊川城館遺跡群として国の 史跡に指定されている。

25 御前崎市 朝夷氏墓地



の武将である朝夷三郎義秀の 墓(石塔)と伝えられている。

御前崎市上朝比奈字宮ノ谷

関連人物 朝夷三郎義秀

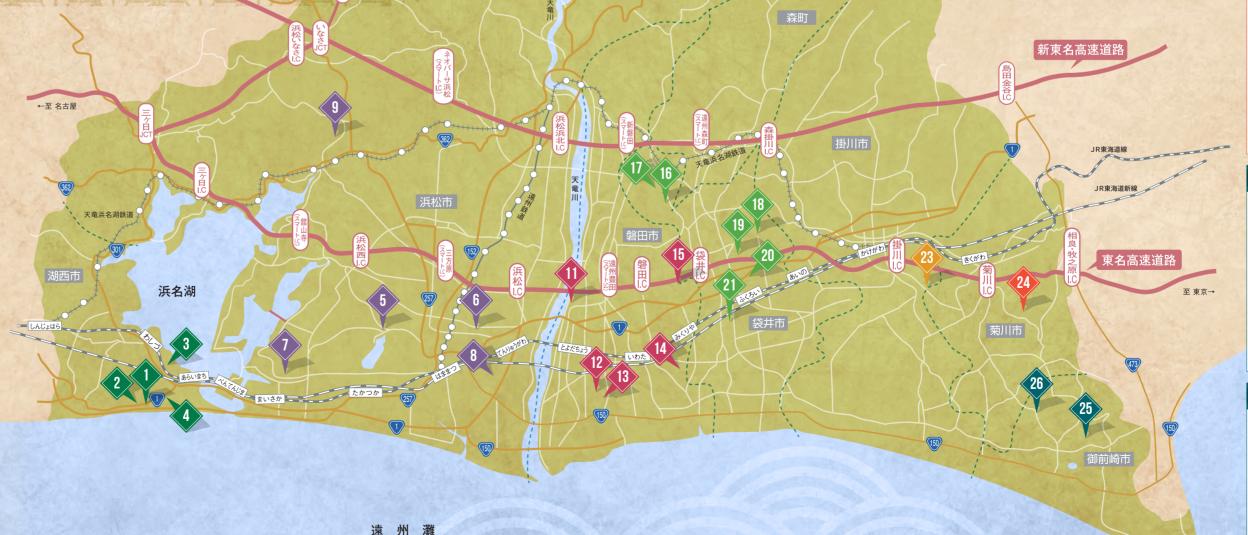
P 無し

26 細前崎市 中尾殿之谷遺跡



P 有り 新野四郎朝繁

ら城主の居館跡との伝承がある。ま た、今は廃寺であるが、近くの聖道 寺に伝わる『正道寺縁由記』には、こ の寺の大旦那は釜原城主で、元弘・ 建武の戦い(1331年~1334年)で落 城したと記されていることから、中尾 殿之谷遺跡は鎌倉御家人の新野 氏の居館跡と伝えられている。



〈3〉^{湖西市} 応賀寺

湖西市新居町浜名1520付边

関連人物源頼朝

P 無し



湖西市新居町中之郷68-1 関連人物源頼朝

夕 有り



湖西市新居町浜名654-(パーキングパーク内) 関連人物源頼朝

P 有り

P無し

場として栄えたところで、遊女 が多くいたことから花香の町と いわれた。頼朝逗留の際に、多 数の遊女が群参したことから この名が残り、石碑説明板が ある。源義朝の子の悪源太義 平の母が橋本の遊女という説

橋本宿は鎌倉時代東海道の宿

9 浜松市 龍潭寺

浜松市南区飯田町990

関連人物 源範頼

夕 有り



浜松市北区引佐町井伊谷1989 関連人物 井八郎 (井伊八郎)

夕 有り

〈5〉浜松市 源範頼別邸御茶屋跡



寿永年間(1182~1184)、蒲冠 者源範頼公がこの地に別荘を 設けた。南に佐鳴湖の清風を迎 え、東西をめぐらす外堀が備え られた。廓内に樹木鬱蒼として 真に別邸の備えだった。範頼公 はこの地に来りて御茶の湯を 立てられし故に、「御茶屋」と命 名されたという。付近には、御 茶屋跡に因んで命名された御 茶屋橋がある。

(10) 浜松市 瑞雲院



山香荘に本拠を移した天野氏 が菩提寺とした。境内に天野氏 文化財。

関連人物 天野遠景 **P** 有り

浜松市天竜区春野町堀之内992-1

-族の墓地(浜松市指定史跡) が会下山から移設されている。 山門と鐘楼は浜松市指定有形